

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 秋田職業能力開発促進センター

実施機関名： 有限会社ネオリブラ

A. バックオフィス	財務管理	企業価値を上げるための財務管理
------------	------	-----------------

コースのねらい	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
	1 財務の概念と財務諸表	<ul style="list-style-type: none"> ・財務管理と財務諸表の概要 企業活動は、貨幣経済社会の中では「お金」でその役務の対価のやり取りを行います。これを正しく確実に行うために「財務」「会計」「経理」などの財務管理活動があります。財務管理とは何か、財務諸表とは何を表したのか、その概要について確認します。 ・3つの財務諸表で実態把握 財務諸表の中でも、企業活動の実態を掴むために特に重要となるのが「貸借対照表」「損益計算書」「キャッシュフロー計算書」の3つです。それぞれの諸表が何を意味しているのか、それによって何が見えてくるのか、ポイントを学びます。 	1.0
	2 コストと資金管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コストとその管理 企業活動に必要なすべての費用を「コスト」と呼びます。ここでは、コストを「直接コスト」と「間接コスト」に区別する視点と、またそれをできるだけ抑えていくための切り口について習得します。 ・資金管理と投資 「勘定あって銭足らず」「お金は回してナンボ」などという、資金管理の必要性を表す言葉があります。また、企業は来るべき未来に向けた「投資」を行います。「投資」のためには、それに必要となる「お金」の用立ても必要です。ここでは資金管理の勘所について確認します。 	1.0
	3 財務分析と財務計画	<ul style="list-style-type: none"> ・財務分析の概要と方法 比較を通じて、企業の状況を分析することをいいます。ここでは、財務分析の基本について学びます。 ・財務分析の活用と財務計画 財務分析により企業の現状を「浮き彫り」にすることができます。さらには未来よりよく変化成長するために、「事業計画」へのインプット情報を提供し、また、資金繰りをはじめとする財務計画を立案します。その概要について学びます。 	1.5
	演習	ケーススタディで、財務諸表の作成にトライします。	1.0
	演習	事例で財務分析し、その結果をディスカッションします。	1.0
	演習	財務管理の面から自社を見つめ直し、財務状態を望むものにするための視点を見出します。	0.5
		合計時間	6.0